

# 地元食材ふんだん給食

県中学生  
選手権 川辺中の献立準グランプリ

県内の中学生が考えた給食献立の出来栄を競う「中学生学校給食選手権」で、川辺町中川辺の川辺中学校が初出場でグランプリに次ぐJ A岐阜中央会長賞を受けた。入賞した献立が同校と町内3小学校の給食で提供され、地元食材を生かした個性あるメニューを味わった。

(原田大介)

サトイモご飯など味わう



考案した「かわベジタンいっぱい!! ほっこり給食」を手にする、庄琢磨君(右)と渡辺七海さん=川辺町中川辺、川辺中学校

県教育委員会主催で「GIFU食のマイスタープロジェクト事業」の一環。昨年12月に岐阜市内で開かれた。書類選考を通った9校から、それぞれ3人が出場。栄養教諭や栄養士らの協力で考えた献立を、プレゼンテーションと調理実技で審査した。

川辺中の献立は「かわベジタンいっぱい!! ほっこり給食」で、町内産のサトイモを使った混ぜご飯や、ゴボウを使った甘辛など5品。汁物にはサトイモの茎を乾燥させた「だつ(づいき)」を使っている。実際に生産農家を取材して、だつの作り方などを学び、寸劇形式のプレゼンで発表したという。

出場した2年生庄琢磨君(14)は「食材を作る生産者の人たちの話

を聞いて、学校給食への感謝が強くなった」と振り返る。渡辺七海さん(14)は「知らない地元食材が多かった。この献立を通して地域の味を知ってもらいたい」と話していた。

中濃地域からは向陽中学校(御嵩町御嵩)

も出場し、川辺中に次ぐ食育マイスター賞を受けた。